



子宮内膜症に伴う疼痛改善剤・月経困難症治療剤

経口黄体ホルモン・卵胞ホルモン混合月経困難症治療剤

ヤーズフレックス®配合錠 または ヤーズ®配合錠

の「一般名処方」による取り違い防止へのご協力をお願い

2018年4月

バイエル薬品株式会社

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社ならびに弊社製品に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社製品「ヤーズフレックス®配合錠」(2017年4月発売)および「ヤーズ®配合錠」(2010年11月発売)は、同一の有効成分・剤型ですが、承認された効能・効果、用法・用量、ならびに1シートの錠剤構成が異なる製剤です。

しかしながら、両剤は一般名が同一であるため、一般名処方された場合に両剤を区別することができず、その方法についてのお問い合わせを「ヤーズフレックス®配合錠」の発売以降16件いただいており、うち1件は実際に調剤における取り違いの事例報告でした(2018年3月20日現在)。

上記の状況を踏まえ、「ヤーズフレックス®配合錠」または「ヤーズ®配合錠」のご処方、ご調剤にあたりましては、今一度下記についてご確認・ご検討をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

- **一般名処方ではなく、販売名でのご処方をご検討ください**
- **一般名処方される場合は、プラセボの有無または販売名を追記してください\***
  - ➔ 一般名に追記する場合  
(例) ヤーズフレックス®配合錠の場合：「【般】ドロスピレノン・エチニルエストラジオール錠 (プラセボ無)」  
ヤーズ®配合錠の場合：「【般】ドロスピレノン・エチニルエストラジオール錠 (プラセボ有)」
  - ➔ 備考欄等に追記する場合  
(例) ヤーズフレックス®配合錠の場合：「Rp1：プラセボ無製剤」  
または販売名「ヤーズフレックス配合錠」  
ヤーズ®配合錠の場合：「Rp1：プラセボ有製剤」または販売名「ヤーズ配合錠」
- **調剤時にどちらの製剤が処方されたか不明な場合は、処方医にご照会ください**

※ 処方オーダーリングシステム等をお使いの場合、追記内容を含めた表記に変換されるようシステム上の設定等を変更されることもご検討ください

皆様におかれましては大変お手数をお掛けしますが、取り違い防止のためご配慮を賜りますよう、宜しく  
お願い申し上げます。

謹白

(裏面もご確認ください)

<参考資料>

■表：ヤーズフレックス®配合錠とヤーズ®配合錠の比較

販売名	ヤーズフレックス®配合錠	ヤーズ®配合錠
一般名	ドロスピレノン・エチニルエストラジオール錠	
効能・効果	子宮内膜症に伴う疼痛の改善，月経困難症	月経困難症
用法・用量	1日1錠を経口投与する。24日目までは出血の有無にかかわらず連続投与する。25日目以降に3日間連続で出血(点状出血を含む)が認められた場合，又は，連続投与が120日に達した場合は，4日間休薬する。休薬後は出血が終わっているか続いているかにかかわらず，連続投与を開始する。以後同様に連続投与と休薬を繰り返す。	1日1錠を毎日一定の時刻に定められた順に従って(淡赤色錠から開始する)28日間連続経口投与する。 以上28日間を投与1周期とし，出血が終わっているか続いているかにかかわらず，29日目から次の周期の錠剤を投与し，以後同様に繰り返す。
1シートの構成	実薬28錠	実薬24錠+プラセボ4錠
シート写真	 <p>ヤーズフレックス®配合錠 YazFlex® BAYER D1 28錠 内服 85221593 カンテーゼルもとの位置に貼付けてください。 錠剤の上側の「1」に服用日付が数字で書いてあります。</p>	 <p>ヤーズ®配合錠 Yaz® BAYER D2 28錠 内服 85221546 カンテーゼルもとの位置に貼付けてください。</p>